

豊かさ、安心、信頼を 誰もが実感できる 熱海へ。

橋本かずみ 熱海市政 NEWS



橋本かずみ

皆様、新年明けましておめでとうございます。

はじめに、日頃ご支援いただいている皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻賜り改めて心から感謝と御礼を申し上げます。

昨年4月に市議会議員選挙が実施され、おかげさまで市議として4期目の再出発を果たせることとなりました。

皆様のご期待に応えられるよう、しっかりと活動を進めて参る所存ですので引き続き、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、新天皇陛下御即位に伴い、平成に次ぐ元号「令和」を迎え、私達市議会議員も5月1日より新たな任期のスタートとなりました。

そして、今年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年となり、国民の夢と希望がさらに盛り上がり、景気にも是非期待を寄せたいところであります。現在の熱海市は、「熱海2030ビジョン」を掲げ、「観光・経済の活性化」、「教育・福祉の充実」、「仕事・くらしの変革」の3つの柱に基づき、「回復」から「躍進」へと「飛躍する熱海」の実現を目指しており、私も基本的にこの齊藤市長の進める政策を全面的に支援して参ります。

観光面では「V字復活」を現実的なものとし、今後はさらに定着化させると共に、宿泊客数350万人を目指す取り組みを進めていかなくはなりません。しかしながら、特に駅前や限られたいくつかの場所では賑わいを見せてはいるものの他のほとんどの地域の市民の声は厳しく、消費税率10%となって実質的物価上昇により、くらしの豊かさや生活向上は全く実感が沸かないどころか、生活はさらに厳しくなっているという声さえ聞きます。

少子高齢化の真つただなかで、子ども達がこの熱海で豊にくらしていけるよう、安心して安全に子育て出来、我々の郷土熱海を今日まで支え続けてくださった親であるシニア世代の皆様をしっかり守っていけるよう、今後も議員を志した原点に立ち返り、果敢に挑戦を続けて参ります。ご支援いただいております皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



痛ましい交通事故のニュースが連日報道で流れてくることを大変残念に思います。交通指導員を続け約20年となりますが、子供たちの登下校時、また祭典時など市民や観光客に事故やケガのないよう、微力ではありますが街頭に立たせていただいております。交通安全は世界の願いです。ドライバーはゆとりを持った運転を、歩行者は手を上げて横断歩道を渡りましょう。



娘や仲間達と共に、友人の釣船にて網代漁港から出港、初島付近で釣りを楽しみました。初島周辺は魚の宝庫です。この豊かな自然を大切にしつつ、熱海と伊豆の魅力のPRにも繋げていければと思っています。

橋本かずみ

得票数
1216票



定住促進を

石川県かほく市に「定住促進」の取り組みを学んで参りました。令和元年11月14日住みやすさランキングは全国上位、4年前から人口は上向きに転じはじめ施策の成果が表れてきていました。テレビ・雑誌等のメディアを活用し、「若者マイホーム取得奨励金」「かほく市新婚さん住まい応援事業補助金」等と、子育て支援策を併せ「若者の住み良さ」をPRしています。今後は、民間企業との連携も含め、より効果的な「住み良さ」のPRの手法を検討されていました。

初いに立ち帰り、誠に誠意
全力で頑張ります。
橋本一実



皆様のお陰で昨年4月に
実施された
熱海市議会選挙において
4回目の当選を
果たすことが出来ました。

ご支援いただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。
公約実現に向けて、日々努力を重ね、誠心誠意頑張っ参りますので宜しくお願い致します。

熱海市議会議員

橋本一実事務所

〒413-0021 静岡県熱海市清水町5-17
TEL.0557-81-7755 FAX.0557-81-1845
✉ info@hashikazu.org

橋本一実(はしもと・かずみ) 1964年(昭和39年)10月20日生まれ 55歳 / 家族: 母、妻、1男2女

【プロフィール】

- 静岡県立熱海高校卒業(1982年度卒)
- 株式会社東海プランニング代表
- 熱海市交通指導員(2002年～)
- 熱海市バドミントン協会会長(2008年～)
- 熱海高校同窓会みどり会会長(2017年～)
- 熱海ワイズメンズクラブ会員(1998年～)
- 熱海コミカレねっとわーく会員(2002年～)

【公職・政治歴】

- 2002年9月: 熱海市議会議員初当選
- 2003年4月: 熱海市議会議員再選
- 2007年4月: 熱海市議会議員3選
- 2010年10月: 静岡県議会議員初当選
- 2011年4月: 静岡県議会議員再選
- 2014年5月: 静岡県議会厚生委員長
- 2015年6月: 衆議院議員秘書
- 2019年4月: 熱海市議会議員4選



令和元年5月20日、熱海市議会にて5月臨時会の本会議が開催されました。4月の選挙後、また元号が「令和」に変わり初めての議会となりました。皆様と交わした公約実現に向け、1分1秒も無駄にすることなく、全身全霊で議論を交わして参ります。左記の写真から私の緊張感が伝わる事と思います。いつでも、市民の立場に立ち、真剣勝負です。この議会にて、観光建設公営企業委員会副委員長、議会運営委員、広域行政推進特別委員会委員、議会だより編集委員会副委員長を仰せつかることになり、身の引き締まる思いです。

熱海市民クラブの代表を務めさせて頂きます。



熱海市議会「熱海市民クラブ」の代表を務めることになりました。大先輩であるベテランの山田治雄議員と会派を組みました。現在、山田議員は12期目で全国最年長議員でもあり、当選後は多くのマスコミ取材を受けられていました。

私もまだまだ山田議員から学ばなければならないことがたくさんあります。



令和元年11月12日、熱海市民クラブにて新潟県糸魚川市へ行政調査に伺いました。熱海市は、昭和25年4月13日に熱海大火を経験しており、糸魚川市は平成28年12月22日に最大瞬間風速27メートルもの大風のため大火となっていました。二度と大火を起こさない様、消防力の強化等様々な対策を学ばせていただきました。



熱海市民クラブとして、来年度の予算要請を行いました。私たちは、齊藤市長の初当選から一貫して市長支援を続けて参りました。今後も基本的にその方針に変わりはありません。しかし、時には**市民目線で厳しい意見も市長に発していきます。**市民のくらしはまだまだ正直豊かにはなってはいません。課題は山積しています。この日は9種55項目の要請を行いました。

決算特別委員会で集中審議



写真は決算特別委員会の様子です。1年間の決算、つまりは市民の皆さんが納めた税金が1年間でどの様に使われたのかを市当局が説明し集中的にこの委員会で審議いたします。**市民のみなさんも傍聴することができます。**



橋本一実
ホームページ

<http://hashikazu.org>



Become our fan on Facebook



@hashimotokazumi



橋本かずみ 情報発信

私の公約のひとつに情報発信を掲げています。市内で街頭演説も行いますが、このようなラジオやフェイスブック、公式ウェブサイトでも常時市政に関する様々な情報を発信させていただいております。ラジオは毎月、第1月曜日の午後5時よりFM熱海・湯河原(79.6MHz)にて「元気な熱海を創る生放送」(30分間)をお送りしています。お時間が許されましたら是非お聞き頂けたら幸いです。

市政に対する
ご意見ご質問等を
募集しております。

fax.0557-81-1845
メール info@hashikazu.orgまで
宜しくお願い致します。

元気な熱海を創る生放送



FM熱海・湯河原 毎月 第1月曜日 午後5時～
79.6MHz
この日は衆議院議員 渡辺周事務所の
渡辺迅秘書さんと共にお送りしました。

落書き防止条例

熱海市落書き防止に関する条例が平成20年12月20日から施行されています。この条例は、私が議員となり初めて発議した条例でもあります。市、事業者、市民等及び建物所有者等が一体となって地域の美観を確保し、快適で良好な生活環境を実現することを目的としています。落書きは犯罪です。放置すると他の犯罪の助長となります。この日は、東海岸町の落書き被害の消去活動を「熱海コミカレねっとわーく」の皆さんが実施してくださいました。また、下多賀地区の消去活動では、熱海高校ボランティア部の生徒の皆さんにもご協力いただきました。ありがとうございます。



同報無線と防災ラジオ

昨年は台風15号と19号の大型台風の直撃を受けました。直後の11月定例市議会本会議において、台風15号のレベル4(避難勧告)が発令された際に、市は悪天候を理由に同報無線を流さず、緊急速報メール等で周知したことを問題視し、「判断ミス」であることを厳しく指摘させていただきました。市は現在、同報無線が聞き取りにくい場合の補完的な対策として、同報無線が自宅で聞ける「防災ラジオ」の普及を進め、また、議会で提言しましたが同報無線の内容を電話で確認できるシステム導入に向けて現在取り組みを進めています。



断水に対し、料金の減免措置を指摘



昨年10月、県営駿豆水道の送水管が50メートルに亘って破損し、8日間、市内最大6900世帯が断水となる事態が発生しました。この断水で改めて水の大切さを実感し、復旧に際し、昼夜を問わずご尽力頂いた県企業局及びご支援いただいた自衛隊、ボランティア、各自治体などの関係各位の皆様にお礼申し上げます。市に対しては、日頃、水道料金、下水道料金を支払っている市民の目線で、この断水に対し、他市町では過去に料金の減免措置を行なっているが本市ではなぜそれをしないのか厳しく市議会11月本会議で指摘致しました。



母校 熱海高校

2017年6月静岡県立熱海高等学校同窓会みどり会総会が開催され、第7代の会長に選出されました。現在約13,000名の同窓生がおり、その同窓生の代表として、現役生徒の皆さんの応援や激励を心掛け、人口減少・少子化の進む中ではありますが、母校を守るため役員の皆様と力を合わせて努力を重ねております。例えば県教育委員会に対し、指導力の豊かなベテラン教諭、若くはつらつとした教諭の配置をお願いするなど、また、桃陵祭では役員の皆さんとバザーに初挑戦、みどり会会報も一昨年から発行し始めました。